

平成 26 年度 飯田東中学校区 小中連携・一貫教育 実施計画

学校名	飯田東中学校	生徒数	1年 80 (丸山小より 12名) 名	2年 86名	3年 87名	計 253名		
		職員数	：県費 23名	市費 5名	非常勤 (内数) 2名			
	浜井場小学校	児童数	1年 28名	2年 29名	3年 26名	4年 31名	5年 28名	6年 39名
		計	181名	職員数	：県費 15名	市費 3名	非常勤 (内数) 2名	
	追手町小学校	児童数	1年 30名	2年 25名	3年 27名	4年 23名	5年 29名	6年 23名
		計	157名	職員数	：県費 16名	市費 5名	非常勤 (内数) 5名	
	丸山小学校							6年飯田東中へ 18名

*児童生徒数、職員数は平成 26 年度見込み数(2/1)

1 研究課題

「丘の上」の地域に愛着をもち、「自主」「愛他」の精神に満ちた子どもを育てるために、小中学校の教師間の指導観や教育観の共有を図るとともに、目指す子どもの姿の実現に向けた具体的な実践を積む。

2 目的

- (1) 児童生徒が望ましい学校生活を送るために、小中学校の教師が互いに生徒指導面や学習面での情報を交換し、指導観や教育観の共有を図る。
- (2) 児童生徒が共に活動し体験を共有する機会を意図的・計画的につくることにより、学力・体力の向上や「自己肯定感」などの意識の向上や児童生徒のよりよい人間関係づくりを促す。
- (3) 地域や家庭とともに小中で連携・一貫した指導支援を通して、不登校の未然防止と学力向上を図る。

上記(1)～(3)の実践を積むことで、地域とくに「丘の上」に愛着をもち、「自主」(苦難をのりこえ全力で物事にとりくめる)「愛他」(他を思い友と協力する温かい心)の精神に満ちた児童生徒を育てていく。

3 実践内容

- (1) 小中、小小の職員間の指導観や教育観の共有
 - ① 飯田東中学校区小中連携・一貫教育推進委員会の開催
 - ・地域の関係者を含め、飯田東中学校区の取り組みの方向や実施計画を協議し、実践状況を確認・振り返りをするとともに、残された課題等について検討する小中連携・一貫教育推進委員会の開催。
 - ② 小中連携テーマ別委員会の開催
 - ・学力・体力の向上、人間関係づくりと心の育成、地域や家庭との連携など小中連携の課題を解決する手だてとして、小中連携テーマ別委員会を開催する。実践を通しながら目指す子どもに近づけるよう推進していく。テーマ別委員会は、5月に発足し8月に中間報告、2月にまとめを行い、次年度への提案を行う。(別項詳細記述)
 - ③ 3校合同職員研修会の開催(5月 8月)
 - ・地域の歴史や伝統を知るとともに、小中連携・一貫教育によって育みたい力(目指す子どもの姿)について共通理解する。
 - ・職員相互の連携を活性化し指導力を高めていけるよう小中が連携した取り組み(テーマ別委員会の実践等)について報告し合い、その成果と課題について確認し、次の委員会に生かしていく。
 - ④ 飯田学校(追手町小・浜井場小)交流での連携
 - ・学力や心の成長についての課題等を交換しあい、小小が共通した指導で学力向上や心の育成を図っていく。
 - ・中学校との連携(関わり)についての情報交換や、校歌が同じ学校同士の教職員として交流(飯田学校交流会)を行う。
 - ⑤ 小中連携係会や養護教諭連絡会等の実施
 - ・小中連携係、生徒指導・特別支援教育・養護教諭等の連絡会で、兄弟姉妹で見守っていく児童生徒についての情報交換や個に応じた継続的な支援について検討し、生徒指導の充実を図る。また、養護教諭連絡会等での配慮すべき児童の把握と支援方法の情報交換により、健康面の管理と心の居場所づくりを支援していく。

(2) 学力・体力の向上, 「自己肯定感」などの意識の向上, 児童生徒のよりよい人間関係づくりの推進

①学力・体力の向上

○ 学力分析から授業改善へ (テーマ別委員会)

- ・小中の学力分析から課題を明らかにし、その課題解決と言語活動充実のためによりよい学習習慣の定着や教科に応じた取組みについて検討するとともに授業改善に活かしていく。特に、算数・数学、英語活動に焦点を当て、小中の系統性をふまえた研究とする。
- ・授業の相互参観や研究会参加を行い、小中の発展系統に着目した指導方法の改善を図る。また、中学校教職員の小学校参観を通して、小学校の指導と児童理解に立った指導法を学ぶ。
- ・小学校の教育課程を中学校のスタイルで行う出前授業を行う。(理科・英語・数学等)

○ 小中学生の体力についての分析 (テーマ別委員会)

- ・各学校児童生徒の体力の分析をし、伸ばさしていきたい点や課題を明らかにしつつ、その指導内容について検討し実践に活かせるようにする。

○ 総合的な学習の時間の検討 (テーマ別委員会)

- ・小6と中学合同のりんご並木活動(摘果作業や除草作業、収穫作業等)から得られる学力や、教科や生活・総合等の中でのりんご並木との関わり方についての研究を進める。

②児童生徒の人間関係づくりと心の育成(自己肯定感の醸成)

○ 9年間の見通しを持った心の育成の推進

- ・りんご並木の活動や総合的な学習、学級活動等のなかで、振り返りを重視して自己理解・他者理解を進め、自己肯定感の醸成を図り、よりよい人間関係を自ら作っていける児童生徒を育てる。
- ・小中の特長でもある「あいさつ」「清掃」「合唱」などの活動について、小中連携や道徳教育的観点から再検討を進め、実践に活かせるようにする。(テーマ別委員会)

○ 9年間を見通した特別支援学級、不登校・不適応児童生徒への支援の実施 (テーマ別委員会)

- ・特別支援学級児童生徒の体験交流や個別の指導資料や支援シートの作成・引継を通して、一貫した指導・支援で生活の安定と社会性を高めていくようにする。
- ・児童生徒の特性や個性に着目した対応について情報交換し、不登校の未然防止や登校支援を図っていく。
- ・特別支援学級が合同で飯田市内見学に行ったり、生活単元学習に招待したりして、共に活動する良さを味わえるようにする。

③小学生を中学につなげていくためのプログラムづくり (テーマ別委員会)

○ 中学校の学校行事への参加

- ・学芸会に小学生を招待し、ステージ発表や展示見学等を通して総合的な学習で学んだキャリア教育や並木活動に関する学習を理解するとともに、中学への期待を持たせる。
- ・小学校の先生に中学の学習や生徒の学びを知ってもらいながら、子どもの育ちを充実させる連携のあり方を検討し深めていく。

○ 小学生の中学校見学と活動参加

- ・小学校休業日(小学校教育課程研究協議会日)に中学校見学を計画し、親とともに授業や清掃の様子、部活動を参観することを通して、中学校の教育活動を知る機会とする。また、小学生に感想を記入してもらい、中学生に返していく。さらに、三校で大切に取り組んでいる合唱づくりの思いを共有しあい合唱文化を創っていく意識を高め、各学校で充実させていく。
- ・小学校においても、中学校見学に向けての目標を持たせたり計画を立てたりして、目的を持った見学ができるようにする。
- ・体験入学での授業体験では、中学校の授業の雰囲気や味わったり中学校を見通した学習方法についての理解を深めたりして、小学校の日常学習の中でも中学校の指導体制を意識した取り組みで基礎基本の定着を図っていくようにする。また、学校説明会(学校紹介)は、1学年級長会が中心となって企画し、小6中1のつながりを強くするとともに、自治活動力を高める。
- ・特別支援学級児童生徒の交流学習を行い、児童理解と共に支援方法を共有しあい、抵抗なく中学校生活スタートできるようにする。
- ・小学校行事への中学生の参加。

(3) 地域に開かれた学校づくりと家庭との連携 (テーマ別委員会)

① 小中連携の取り組みの紹介と働きかけ

- ・学校だよりなどで地域に愛着を持つ子どもを育てる目的や具体的な取り組みを紹介し、保護者を取り込んで小中連携・一貫教育を推進していく。
- ・学力や体力の向上を指向した保護者や地域への働きかけの内容について、各学校の実情を分析しながら共通認識をもち、特に家庭学習の取り組み等について検討していく。

② 公民館、りんご並木後援会、丘の上の子どもを守る地域の会などとの連携

- ・町内児童会や地区生徒会を軸として児童生徒の地域での活動の場を広め、地域とともに育つ子どもの育成に取り組んでいく。

- ・公民館事業、地域行事、ボランティア活動への参加・協力

(東野：運動会 10/5 芸能発表会 10/19 展示発表会 11/1・2 等)

(橋南：運動会 10/ 芸能発表会 10/26 文化祭 11/1・2 等)

(橋北：文化祭 6/28・29 運動会 10/12 等)

③ 飯田西中学校区との連携

- ・中学校参観や体験入学などを同じ日に位置づけ、2つの中学校区に関わる丸山小学校が無理なく両校への進学ができるように連携内容を検討する。

4 推進日程 (表中数字は期日)

	飯田東中学校	浜井場小学校	追手町小学校	丸山小学校	備考
4月	参観日 18		参観日 25	土曜参観日 19	
5月	<u>小中連絡会 13</u> *清掃・学活・授業参観 第1回3校合同研修会 <u>(21)</u> <u>並木摘果作業 26</u> <u>並木作業予備日 29</u>	<u>参観日 2</u> <u>小中連絡会 13</u> *清掃・学活・授業参観 第1回3校合同研修会 <u>(21)</u> <u>並木摘果作業 26</u> <u>並木作業予備日 29</u> 運動会 31	<u>小中連絡会 13</u> *清掃・学活・授業参観 第1回3校合同研修会 <u>(21)</u> <u>並木摘果作業 26</u> <u>並木作業予備日 29</u> 土曜参観 31	<u>小中連絡会 13</u> *清掃・学活・授業参観 並木摘果作業 26 <u>並木作業予備日 29</u> 運動会 31	第1回テーマ別委員会 21 ↓ テーマ別委員会、1～2回程度実施 ↓ 2回合同研修会で、テーマ別委員会の中間報告 ↓
6月	<u>市教職員研修会 6</u>	<u>市教職員研修会 6</u> 土曜参観日 21	<u>市教職員研修会 6</u> 音楽会 26	<u>市教職員研修会 6</u> 参観日 27	
7月	日曜参観日 6 親子並木作業 27	親子並木作業 27	親子並木作業 27	親子並木作業 27	
8月	第2回3校合同研修会 <u>(18)</u>	第2回3校合同研修会 <u>(18)</u> 飯田学校交流会 27	第2回3校合同研修会 <u>(18)</u> 飯田学校交流会 27		
9月	参観日 2 <u>学芸会 26</u>	祖父母参観日 4 <u>東中学校学芸会 26</u>	<u>東中学校学芸会 26</u> 運動会 28	祖父母参観 12 <u>東中学校学芸会 26</u>	
10月	<u>りんご収穫作業 10</u> <u>中学校見学日 17</u>	<u>りんご収穫作業 10</u> <u>中学校見学日 17</u> 音楽会 24	<u>りんご収穫作業 10</u> <u>中学校見学日 17</u> 祖父母参観日 21	音楽会 3 <u>りんご収穫作業 10</u> <u>中学校見学日 17</u>	

11月	参観日 13 並木収穫作業 26 並木作業予備日 28	地域公開参観日 15	低学年参観日 7 中学年参観日 11 高学年参観日 14	参観日 13	テーマ別委員会
12月	並木施肥作業 2 チューリップ球根植 9				
1月	参観日 15 体験入学 21 *体験授業・清掃参観 学校説明会 並木剪定作業 23	体験入学 21 *体験授業・清掃参観 学校説明会	体験入学 21 *体験授業・清掃参観 学校説明会 低学年参観日 27	体験入学 21 *体験授業・清掃参観 学校説明会	
2月	参観日 26 テーマ別委員会まとめ	低学年参観 13 高学年 20 特別支援 26 テーマ別委員会まとめ	高学年参観日 2 学習発表会 17 テーマ別委員会まとめ	中 20・低 27 参観日 テーマ別委員会のまとめ 次年度への方向付け	
3月				高 3・支援 6 参観日	

5 地域との連携

(4)に記載

6 推進にあたっての課題、推進委員会への提案とその根拠

- (1) 平成26年度の計画実施に向けて、職員間の意思疎通を図ること。
- (2) 年間計画立案には、日程や時間等について教頭同士が綿密な打ち合わせを行うこと。
- (3) テーマ別委員会の組織を4、5月に立ち上げ、有機的に推進していくにはどのような手立てが必要か。

＜テーマ別委員会の組織および構成＞

① 組織

- ・委員会の数と人数 1委員会5～6名で、9委員会とする。
- ・委員会の構成 委員長1名 副委員長1名 委員3～4名

② 委員会

○学力・体力の向上について（5委員会）

- A 学力向上（分析とその対策 学習習慣の定着 家庭学習 指導法の改善など）
- B 体力向上（分析とその対策）
- C 算数・数学（系統性を考えた算数・数学指導と指導法の改善）
- D 英語（5、6年生から中学への英語活動のつなぎかた）
- E 生活・総合（「りんご並木」を活かした学習、小中連携年間計画の作成）

○人間関係づくりと心の育成（3委員会）

- F あいさつ、清掃、合唱などの各校の特性を活かした連携
(道徳教育的観点からも検討を加える)
- G 特別支援学級児童生徒、不登校・不適応児童生徒への対応と支援体制作り
- H 中学につなげていくプログラムづくり
(行事への参加 体験入学 出前授業 授業参観)

○地域・家庭との連携（1委員会）

- I 地域とのつながり、地域への発信
(地域行事・地域活動とのつながり、学校支援ボランティアなど)

平成 26 年度

飯田東中学校区 小中連携・一貫教育

グランドデザイン案

「丘の上」に愛着をもち、
自主・愛他のお精神に満ちた子ども

(案)

○学力・体力の向上

- ・学力・体力の分析、対策
- ・学習習慣の定着 授業改善
- ・教科に応じた連携
- ・表現力、言語活動の充実
- ・小小の連携

○人間関係づくりと
心の育成

- ・りんご並木活動
- ・あいさつ、清掃、合唱
- ・交流、体験活動
(中学校見学、体験入学
小小交流など)

○地域・家庭との連携

- ・家庭学習への取り組み
(PTAとの連携)
- ・丘の上の子どもを守る会、
まちづくり委員会との連携
- ・公民館活動等への参加

丘の上に共に育つわたしたち
地育力 家庭教育力 学校支援



飯田東中学校区小中連携・一貫教育推進組織図（案）

